

校長室より

二松学舎大学附属高等学校  
校長 鶴飼敦之

## 「二松から飛翔へ」

## 2023 合宿訪問記⑥ ～サッカー部 in 波崎（茨城県）～

お盆が明けた16日（水）、サッカー部の合宿を訪問し、激励してきました。試合形式による強化合宿のため、宿や練習グラウンドは対戦チーム等との調整が必要で、詳細が決定したのは8月上旬のこと。

合宿地は茨城県の東南端に位置し、鹿島灘と利根川に囲まれた地で、“波崎”の地名からも波風の高い場所を想像しました。案の定、現地には風力発電機が何基も建設されていました。

この町は、近年ではスポーツ振興に力を入れており Sports Tpwn として各種スポーツ大会等を誘致しています。中でもサッカーは『鹿島アントラーズ』の地元、鹿島市のすぐそばでもあり、当然のことながら盛んで、グリーン芝生を求めて、年間を通じ合宿や練習、大会で賑わうそうです。

実際に訪れてみると、周辺にはサッカーコートが50面以上もあり、二松生が活動するグラウンドがどこなのか迷子になる始末。引率の兼子先生に電話で場所を確認し、辿り着きました。

当日は、午前中から静岡のチームとゲームの予定でしたが、台風等の影響で新幹線の運転見合わせなどが発生し、相手チームが参加できず、急遽、空いたグラウンドを活用した練習となり、西條先生の鋭い指示が飛んでいました。台風一過で少しは秋らしい天候かと思いきや、厳しい炎暑で体力勝負の様相です。休憩時も日影が少なく、頭から水をかぶって、まさにクールダウンの状況でした。井戸水なのか？ 水温は冷たく、練習で火照った体を冷やすには効果的なようでした。昼食も喉を通らないとの声も聞こえましたが、「食べないと倒れるぞ」と一喝。食事でも練習の一環です。

サッカー部の合宿は3年生も参加し、8月下旬から始まる選手権大会を目指して、チーム一丸となって取り組んでいました。「午後からの組まれている2試合 頑張れ！！」と声を掛け、グラウンドを離れました。



今年は、合宿を実施している部への激励に出掛けました。いずれの部も酷暑の中、それぞれのパフォーマンスを向上させるために、必死に challenge し、努力を重ねていました。本当に暑い中お疲れ様。

一方、合宿を実施しない部も、先生方から活動の様子を紹介いただきました。みんな頑張っているね！！一回りも二回りも成長した皆さんと2学期に会うのが楽しみです。